

アクティブ・エンディングをテーマにフォーラムを開催

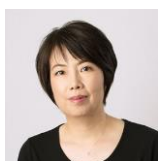
∞ 終活 ジャーナリスト 金子稚子さんをお迎えします ∞

燕市では、医療・福祉・介護を一体に考えることで、年をとっても、病気になっても、障がいがあっても、住み慣れた地域で暮らせるためのしくみの構築を進めています。

今回は「い（生・逝）き方は自分で決める」をテーマに、「真の終活」について考え、行政と医療・福祉・介護の各専門職が連携し、サポート体制の強化を図ります。

【つばめ・やひこ医療・福祉・介護フォーラム】

- とき 9月1日（土）午後1時30分～4時（開場：午後1時～）
- ところ 燕市文化会館大ホール
- 内容 ①市民グループ SYDompitious によるコーラス
②金子稚子^{わかこ}さんによる講演会 演題：「い（生・逝）き方は自分で決める」
- 対象 燕市・弥彦村に在住・在勤の人、医療・福祉・介護の専門職行政職の人
- 申込み ①燕・弥彦医療介護センターに電話かファックス
方法 ②市のホームページの簡単申請から
- 申込み・ 燕・弥彦医療介護センター
問合わせ ☎ 0256-77-8856 Fax 0256-77-8858



簡単申請申し込み QR コード

講師紹介

誰もが迎えるその時、自分ならどうしたいという気持ちに寄り添って医療や介護を提供しようという動きが始まっています。金子さんは単なる体験談にとどまらず私たち自身が自分でいきかたを決める必要性を訴えています

夫は2012年に他界した流通ジャーナリストの金子哲雄氏。

著書「アクティブ・エンディング～大人の「終活」新作法～ほか多数

本件についてのお問い合わせ先

健康福祉部 長寿福祉課：桑原(明)、河合

電話：0256-77-8157（直通）